

旧年中は格別のお引立を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の年賀状では、年賀状を2枚綴りで出すという斬新なアイデア以降、新しいアイデアが浮かばないと泣き言を冒頭に書いたことは記憶に新しいところかと思います。令和2年1月7日のことですが、朝の丸ノ内線の車内、新宿三丁目あたりで、アイデアの神が降臨してきました。当職の年賀状に対する感想として、「老眼なので読みづらい」というものが一定数ありました。トライ&エラーという観点からは、それをどう改善するべきか考えていましたところ、「そうだ！京都に行こう」ではありませんが、「動画で届ける年賀状」なんてどうかということを思ったわけです。ということで、今回は、QRコードを年賀状につけました。

昨年も無事に、一日たりとも休まず、blogを更新することができました。「労働法務弁護士、がむしゃらに生きる365日～人生に無駄などないと信じて～」が板についてきた感じです。12月18日時点で、総アクセス数が134,390回。1日の過去最高が640回。これは、事務所を設立したときの内容でした。blogのアクセス数を分析すると、こんな結果が出てきました。

① レストランの紹介はアクセス数が少ない。昨年も年賀状でつぶやきましたが、これ、どうしてなんですかね？個人的には、まあまあ美食家と思ってまして、それなりに自信のあるお店を紹介しているのですが、あまり伸びません。

② 労働法、人事労務関係の記事をアップすると、それなりにアクセス数が多くなる。これは、何となく理解できます。僕に求められているのは、これですよね。そうですね。分かってます。今後も、もっとためになる記事を書きたいと思います。

③ 大三国志の記事をアップすると、めちゃくちゃアクセス数が多くなる。これは凄いです。ゲームの力が凄すぎる。大三国志と一緒にやっている方々などが見てくれているんだと思いますが、その数が凄いです。

そうそう、昨年はコロナ禍で、Web会議が流行りましたよね。実は、僕、昨年2月の時点でWeb会議を導入していたんです。凄くないですか？先取りですよ。また、事務所の受付はiPad。内線電話は必要ありません。電話機に耳と口をつける必要はないんです。これも先取り、凄くないですか？

また、昨年は、書籍を1冊出させて頂きました。「Q&Aとストーリーで学ぶコロナ恐慌後も生き残るために労働条件変更・人員整理の実務」（日本法令）です。これは、緊急事態宣言あたりに仕事が一時的に減ったので、この時点での何か書こうかなと思い立ったのですが、既にコロナに関する労働関係の書籍があっちこっちで執筆していますという声が聞こえ、心の中では、正直、「乗り遅れたな」と思ったわけです。

そこで、更に先を見据えようと考え、このような書籍を書いた次第です。ただ、仕事が減ったのも一時的。

しかも、昨年は、ボスである寺前隆弁護士が、第一東京弁護士会の会長に就任し、殆ど事務所に来れなくなり、業務にも携われなくなり、事務所に残った弁護士で対応しなければならないということで、もうてんやわんや。昨年は、久しぶりに、若かりしときと同じような労働時間になりました。だから、新たな弁護士に当事務所に参画してもらいたいと考え、求人募集をかけたのですが、全然人が応募して来ない。どうしてだと。うちの事務所に何か問題があるのか?と悩み続け、結局、人を取ることはできませんでしたが、今年は是非とも取りたいです。切実です。

そして、タバコ。昨年も無事に吸わずに1年が経過しました。最近はもう、吸いたいなと思うこともなくなりました。でも、僕は、喫煙者に優しい禁煙者になりたいと思っています。

運動と、音楽の部ですが、ゴルフは殆どできませんでした。でも、昨年の年賀状でも書いたとおり、ドライバーを新調しました!でも、結局使わずに終わりました。そして、クラシックコンサートも、殆ど開催されず、行けませんでした。でもですね。昨年は、チャイコフスキイにドはまりしました。チャイコフスキイのバイオリンコンチェルト、チャイコフスキイの交響曲6番、悲愴、チャイコフスキイの交響曲4番、これが一番好きです。あの、じょんじょかじょんじょか、いっているあたりが大好きです。分かる人には分かると思います。

さて、毎年反響を呼んでおります1年間の読書一覧。今年はお恥ずかしながら、少ないです。その原因是、もちろん、仕事が忙しかったからです!いや、違います。読書の時間が、大三国志に取られてしまったからです。

英語学習 2.0(岡田祥吾)、400 のプロジェクトを同時に進める佐藤オオキのスピード仕事術(佐藤オオキ)、ルビンの壺が割れた(宿野かほる)、弱者でも勝てるモノの売り方お金をかけずに売上を上げるマーケティング入門(上杉恵理子)、楽しくなければ仕事じゃない(千場弓子)、「畳み人」という選択(設楽悠介)、「作る」と「使う」の2つで変わる 動画で稼ぐ仕事術(木村博史)、仕事の「見える化」記録術(谷口和信)、ハートドリブン 目に見えないものを大切にする力(塩田元規)、キングダムで学ぶ乱世のリーダーシップ(長尾一洋)、勝者の思考回路(柴田陽子)、仕事ごはん部下ごはん できる人の会食術(平原由紀子)、ビジネス教養としてのゴルフ(戸張捷)、弁護士になった「その先」のこと(中村直人・山田和彦)、マンガ ビジネスマネジメント全史(三谷宏治)、僕は君の「熱」に投資しよう(佐保アンリ)、iPad はかどる!仕事技 2021、無一文からのドリーム(ラファエル)、ビジネス書を捨てよ、街へ出よう(高山洋介)でした。

勝者の思考回路は、読んでいて震えました。とても心に響く良い本でした。

あとですね、昔のマンガなんですが、「サンクチュアリ」って知っていますか？友人に薦められて読んだのですが、めちゃはまりました。面白すぎました。

また、御報告なのですが、実は、Twitterを始めました。実名で登録しています。殆ど、大三国志やってる方ばかりと繋がっています。

最後に、全然関係ないのですが、Web会議でふと思ったこと。対面の打ち合わせでは、スーツの上着を着ている方が多いのに、Web会議になると、どうしてか、スーツの上着を着ていない方が多い（自分も含めてデス）。Webだと、どうして上着を着なくてもいいと思ってしまうのだろう？パソコン画面を見ているからだろうか？そんなことを電車の中で考えて、色々な妄想とかアイデアを練っています。

今年も、新しいことに挑戦していきたいと思います。動かないと何も起きない。トライ&エラーを繰り返す。

長々となりましたが、今年も、御指導、御鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。